資料No.1769

令和2年度農林水産業・食品産業における
労働安全強化対策推進事業のうち

農業機械安全性向上対策強化委託事業

結果報告書

令和3年3月

一般社団法人　日本農業機械化協会

まえがき

我が国の農作業での死亡者数は年間 300 人以上で推移してきました。平成 30 年は 274 人、令和元年は 281 人と近年はやや少なくなっていますが、農業就業者数が減少していることを踏まえると、厳しい状況であることに変わりはありません。これらの死亡事故の最大の発生要因が、乗用トラクターによる転落・転倒事故となっています。こうしたトラクターの死亡事故を防止するためには安全キャブ・フレームの装備、シートベルトの装着が極めて有効とされているところですが、これらが一般化していない時代に市販されたトラクターが現在でも一定程度存在している状況にあります。

このため、農林水産省においては、安全フレーム等未装着トラクターによる事故の低減方策の検討を進めるため「令和 2 年度農林水産業・食品産業における労働安全強化対策推進事業のうち農業機械安全性向上対策強化委託事業」を実施することとし、当協会が受託いたしました。

当該委託事業では、（公財）交通事故総合分析センターが所有する交通事故情報を収集し事故の実態を明らかにするとともに、安全フレーム等が装備されていないトラクターにそれらを追加して取り付けた所有者を対象にアンケートを実施し、当該機の利用実態や、安全フレーム等の装備に関して抱いていた認識、当初装備しなかった理由、装着後の意識等について調査いたしました。

本報告書では、以上の調査結果を取りまとめて集計するとともに、結果についての分析と、安全フレーム装着のために有効な推進方策の検討結果を整理いたしました。本報告書が我が国の農作業の安全に寄与し、乗用トラクターによる死亡事故の減少に少しでも役立つものになることを期待しています。

最後となりましたが、本事業の調査検討委員として、事業推進についてご指導いただいた米川東京大学大学院農学生命研究科准教授、富田農業技術革新工学研究センター安全工学研究領域長、塚本同研究センター安全検査部作業機安全評価ユニット長、伊藤全国農業機械士協議会会長に深く感謝申し上げます。

令和 3 年 3 月　一般社団法人日本農業機械化協会

目　　次

（第１部）農耕作業用特殊車の交通事故に関する分析 ……………………………… 1
１　交通事故統計について ……………………………………………………… 1
２　農耕車の事故件数の推移 …………………………………………………… 2
３　農耕車の事故件数の類型 …………………………………………………… 4
４　事故の人的要因と月別事故件数 …………………………………………… 7
５　シートベルトの着用と加害部位別死傷者数 ……………………………… 9
６　年齢別事故件数の推移 ……………………………………………………… 11
７　年齢別死傷者数 ……………………………………………………………… 14
８　まとめ ………………………………………………………………………… 15
参考資料 農耕作業用特殊車に関する交通事故情報 ……………………………… 16

（第２部）トラクターの安全フレーム等の装着に向けた実態調査結果の分析 ……… 22
Ⅰ　アンケート調査結果の取りまとめ ………………………………………… 24
１　アンケート調査の概要 …………………………………………………… 24
２　アンケート調査結果 ……………………………………………………… 26
（１）回答者のプロフィール ………………………………………………… 26
（２）対象トラクターの利用実態等 ………………………………………… 28
（３）安全フレーム等の取り付けについて ………………………………… 31
（４）トラクターの安全利用への意識について …………………………… 36
（５）その他、意見、要望 …………………………………………………… 38
Ⅱ　現地ヒアリング調査結果の取りまとめ …………………………………… 39
１　現地ヒアリング調査の概要 ……………………………………………… 39
２　現地ヒアリング調査の結果 ……………………………………………… 39
（１）広島県における調査 …………………………………………………… 39
（２）熊本県における調査 …………………………………………………… 46
Ⅲ　安全フレーム等の装着のための推進方策等 ……………………………… 52
参考資料１　現地調査の状況（写真） ……………………………………………… 54
参考資料２　トラクターの安全フレーム等の装着に向けた実態調査（調査票） … 58
参考資料３（株)クボタ　中小型トラクターの安全フレーム装着経緯 ………… 62